

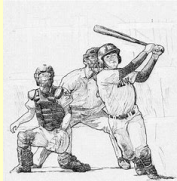


～ 第100回全国高校野球選手権記念沖縄大会 !! ～

台風7号の影響で、予定より2日延期になった首里高校との試合が7月3日(火)に行われました。朝から小雨模様で試合中もずっと雨に打たれながらの厳しい環境での戦いとなりました。

今大会は第100回記念大会ということで、マスコミの取り上げかたも例年とは違うものを感じました。特に首里高校は沖縄勢甲子園初出場、初勝利の歴史を持つ高校なので、その注目度も高かったように思います。試合はまさに一進一退の激闘で、首里高校は投手3名を投入するなど、総力戦の様相を呈しておりました。両チームとも死力を尽くしての内容でしたが、結果は4-5で首里高校の勝利となりました。

浦高のプレーに焦点を当てると、投手の東凌矢の力投、黒島永裕のHR、セカンド城間界伸の超ファインプレーなど、まさにプロ野球を見ているような錯覚を起こすほどでした。また、監督の上間理博先生、部長の志良堂哲也先生が日頃の練習で培ってきた選手との信頼関係が要所要所に見られ、その采配にも現れていたのではないかと思います。



さらに、応援に駆けつけた保護者、OB、支援者の皆様からは雨の中たくさんの声援をいただきました。特に保護者の皆様は常に声をあげ、ピンチに立たされた時や失策で雰囲気沈んだ時ほど“大丈夫!大丈夫!!”と元気づけ、選手とともに戦っているんだという気概を感じさせていただきました。

3年生部員にとって最後の夏が終わりましたが、その思いは後輩達が必ず受け継いでいくはず。主将の眞栄里大生は「後輩には常に土壇場をイメージした練習を続けて、監督やコーチを甲子園に連れて行ってほしい」と新聞でのコメントがありました。

浦高野球部本当によく頑張りました。感動をありがとう。校長

～ 校内弁論大会 ～

7月4日(水)校内弁論大会が行われました。各学級での選考、各学年での選考を経ての本選大会で、演題も多岐にわたりレベルの高い素晴らしい大会となりました。

最優秀賞の渡慶次結「ことば」は現代社会を生きる私たちの「生き方在り方」を考えさせる内容で、表現力も大変素晴らしかったと思います。また、優秀賞の平地紗佳「アルバイトについて」、榮野川文樺「今日の私にできること」は高校生らしいハツラツとした感性が素晴らしかったです。

優良賞の與那覇柚士「オジーオバーからの3つの贈り物」は抱腹絶倒で、思わず声を上げて笑ってしまいました。それと同時にその人間性が見えて心が温かくなりました。

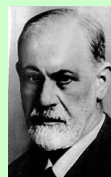
弁士の皆さん本当に素晴らしい弁論ありがとうございました。皆さんの感性、洞察力、表現力等は特に優れていると思います。1200名の前での弁論は緊張したと思いますが、これもひとつのキャリアとなり今後の生活の糧になるはず。校長

*** 校長雑感 ***

“はっ”と目が覚め、テレビをついたら2-0で勝っていた。W杯サッカー対ベルギー戦の話である。飛び起きて真剣に応援を始めると“あっ”という間に逆転されて負けてしまった。私が応援をして、たったの30分程度で3点もとられるなんて・・・。なんだか私の応援のせいで負けてしまったような気がした。そんなことないですよ。(泣)

〜〜 時の言葉 〜

過去を思い返す日が来たときには、
「もがき苦しんだ日々こそが、
最も素晴らしい」と気がつくだろう。



フロイト
(精神分析学者)

人生いろいろなことがある。「もうダメだ」と思うことも多々あるだろう。しかし、その苦しみこそが自分を大きく成長させてくれる糧になる。今はどんなに苦しくても、いつかは「あの苦しみがあったからこそ」と思える日が必ず来る。校長

～ AED 使える? ～

職員対象でAED講習会が本校視聴覚教室で行われました。期末考査の1日目で、先生方にとって猫の手も借りたいほど忙しい時期ですが「さすが浦高職員」たくさんの参加のもと実践訓練をしました。

「AEDの基礎知識」「心臓マッサージの実践」「緊急事態の対応練習」等ほんとうに勉強になりました。

このような講習会は、先生方のみならず生徒の皆さんも必要ではないかと感じました。「いざ!」という時に知識があるのとないのとでは行動のあり方が違ってくと再認識しました。

生徒の皆さん「AED使える?」「浦高のどこにあるかわかる?」

校長